

特定非営利活動法人エファジャパン
2023年度年次報告書

2023 EFA JAPAN ANNUAL REPORT

すべての
子どもたちが
可能性と
創造性を発揮し、
自分ものがたりを
描ける社会に。



Empowerment For All
エファジャパン



本が つくる、 あなたの未来の キミの未来の ものがたり



まっしろいキャンバスに、
色とりどりの未来を描くのは私自身だ

「あの子は何にもできやしないさ」

生まれてからずっとそういわれていた。

「授業についていけないから、学校に来なきゃいいのに」

クラスメイトがからかってくる。

私を産んだお母さんも、毎日つらい言葉を聞いている
ようだ。

「人とは違う」といわれ、村でも、学校でも、私の居場所
はなかった。

「あなたの夢は何ですか」「夢を持ちなさい」と大人たち
は言うけれど、私は「明日」という未来すらも想像できず、
口を閉ざしてしまう。

ある日、私の住む小さな村に、チルドレン・スタディ・
クラブができた。無料で通える補習校だという。「どんな
ところだろう、ここでもいじめられたらどうしよう」そう
思うと、最初は怖かった。けれど、勇気を出して行ってみ
ると、クラブの先生が笑顔で迎えてくれた。

クラブに通うのは私と同じような辛さを抱えている子
どもたちで、すぐに仲良くなった。

ここでは、私がわかるまで、先生が繰り返し何度でも教
えてくれた。本の字が読みづらいクラスメイトのために
はタブレットが用意されていた。

そうだ――

いままで私にぴったりの「ばしょ」がなかっただけだ。

私にぴったりの「もの」がなかっただけだ。

そして一緒に歩んでくれる「ひと」がいなかっただけな
んだ。

自分のペースで、自分に合った勉強ができ、「わかつ
た!」と思う小さな成功体験が増えていくごとに、自分が
強くなっていると感じられる。

自分の未来を描くのは、自分自身。

いまそれができると信じられるようになった。私に
とっての大きな、大きな一歩だ。

一人ひとりが描く、色とりどりの未来

病氣の人を 支えられる人になりたい

小学校6年に進級できることが決まったばかりのビンパレン(13)さんは、稲作、野菜作り、養鶏で生活を営んでいるお父さん(43)、そして結婚したばかりのお姉さん(19)、義兄の4人暮らしです。

お父さんは、生まれつき視覚障害があり、読み書きに苦労してきました。ビンパレンさんは軽度の学習障害があり、2年前からチルドレン・スタディ・クラブに通っています。朝は4時前に起床。暗いうちから予習をします。朝ご飯を食べ、8時にはスタディ・クラブへ。お昼前に一旦家に帰り、昼食をとったあと、13時までに小学校へ自転車で通います(小学校は午前と午後の2部制)。

「学校でも友だちができて嬉しい。でも影で意地悪なことを言う子もいます…それでも前よりは一緒に過ごせる人が増えました」

「本当に仲の良い友だちは、スタディ・クラブの子たちです。みんな優しくて素敵な人たちばかりなんです」

学校が終わる16時を過ぎるとすぐに帰宅します。「本当は遊んで帰りたいけれど、帰り道が心配なんです」。



ビンパレンさん
(トラビアン・トミアス小学校6年生、13歳)



カンボジア

家に帰ると、畑の水やりをし、夕飯の準備をお姉さんと一緒に始めます。食事を終え、片付けを済ませたら宿題の時間です。20時には布団に入ります。でもなぜか0時頃に時々目が覚めてしまうそう。「頭痛持ちのせいかも…」寝付けない時は、お父さんのスマホを借りて時間を過ごします。

ピンパレンさんは、看護師になる夢を描いています。「母が5年前に心臓病で亡くなってしまったので、病氣の人を支えられる人になりたい」

タブレットでの勉強が 僕に合っている

僕は知的障害があります。クラスメイトだけではなく、近所の人たちにも「ソックチャンは学校に行くべきではない」といわれたことが何度もあります。物事を覚えるのに時間がかかり、一生懸命覚えようとすればするほど授業中に具合が悪くなることもしばしばありました。

チルドレン・スタディ・クラブに来て、はじめてタブレットを使ってみました。タブレットを使って勉強するほうが集中できます。おかげさまでみんなから無理だといわれていた中学校に進学することができました。



チュリアン・ソックチャンさん
(ダムナック・アンビル中学校2年生、15歳)



カンボジア

あこがれは 最高のスパイ

アティターンさんは、生まれつき下半身がまひして感覚がありません。お父さんはヨーロッパ人。「でも、僕に障害があるのが嫌だったのか、生後6ヶ月のとき国に帰ってしまいました」。いまはシングルマザーのお母さんと、お兄さんの3人暮らしです。

小学生になり、車いすで登校できるようになりましたが、体調不良の日も多く、家にいることも頻繁です。病気で辛くて動けない日には、体を丸めながら横になり、テレビを見ながら過ごします。ある日、テレビを見て「カッコいい！」とあこがれた職業が「スパイ」でした。「でも、車いすの僕はスパイになんかなれない」。そう思っていました。

ある日、先生に「僕はスパイにあこがれているんだ。車いすじゃなれないけれど」。そう言うと、思いがけない答えが返ってきました。「テレビに出てくるスパイのように飛び回ったりはできないかもしれないけど、車いすなら一番怪しまれないはず、きっと最高のスパイになれるよ」

「そんな考え方もあるんだ！」と、アティターンさんはびっくりしました。そして、最高のスパイになる夢を追いかけるために、今日も学校に来ています。



アティターンさん
(バサイ小学校4年生、12歳)



ラオス

一人ひとりの成長を 見つめていきたい

研修会に参加し、学校図書室にある本の登録や管理の方法、図書室でできるさまざまな活動を学びました。私は校長として、障害がある子どもたちにきちんと小学校を卒業してもらいたい。そして学問だけではなく、人と接する楽しさ、自分の可能性を見つけだす喜びを経験して、中学校に進学してもらいたいのです。

小学校を卒業しても、私の心は一人ひとりの子どもたちとともにあります。これからもずっと、一人ひとりの成長を見つめていきたいです。



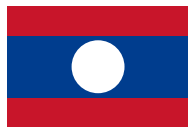
ヴィッサイ・レウハチャック校長
(サバントング・ヌー小学校)



ラオス

A colorful future
drawn by
each individual

LAOS



ラオス



CAMBODIA



カンボジア



思考とスキル向上のための 読書推進プロジェクト

「ラオス子どもの家財団」と協働で、障害児が多く通う2校の小学校で、当該事業を実施しています。

●バサイ小学校：全校生徒60人
(内、障害児19人)

●サバントング・ヌー小学校：全校生徒73人
(内、障害児26人)

子どもたちの読書推進環境整備として、小学校の夏休み期間を利用し、使用されていない部屋を図書室として整備しました。また、両校の教員を対象に、図書室の運営業務及び教材制作方法を学ぶ研修会を開催しました。10月からは、家に本がない子どもたちが多いため、少しでも本に慣れ親しんでもらうように、国立図書館と協働で毎週2回、両校を回る移動図書館活動を実施しました。

さらに、教員と国立図書館職員を対象とした「障害児を考慮した学校の計画と個別教育計画研修会」を開催し、障害児への理解を深めるとともに、実践に役立つ技術を取得する機会を提供しました。

県立図書館への 図書管理システム導入

エファは、図書館と利用者の利便性を高めるために、蔵書管理をはじめ、貸出・返却処理の効率化を進める図書管理システムの導入を行っています。

12月25、26日に、国立図書館と協働で、ルアンパバン県立図書館職員を対象に、図書管理システム導入研修会を開催し、システム・プログラムがインストールされたコンピューター等を配布、これにより2019年から2023年度までに、エファの支援で図書管理システムが導入された県立図書館は6館になりました。

2024年3月、情報文化観光省、国立図書館、また、これまでに図書管理システムを導入した6館の図書館職員と合同で評価会議を行いました。利用者が本を探しやすくなった、図書館員の貸出・返却作業にかかる時間が改善された等の報告を受けています。

ビエンチャン都立図書館運営支援

ラオスの公共図書館の開館時間は、平日9時から16時、週末は閉館となっていたが、2021年度より、仕事帰りの人や学生が利用しやすくなるため、平日18時まで開館時間延長、土曜日午前の開館(9時から12時)を実施しています。これに伴い、職員への時間外手当を支給しました。また、図書の配布も行いました。

小学校図書館・図書室運営支援

ビエンチャン都及びサワンナケート県の7校の小学校図書館・図書室の運営支援として、絵本や文房具一式を配布しました。また、国立図書館職員と同行でモニタリング調査を行い、追加の技術指導等を提供しました。

カンボジア農村部の障害児の ライフスキル向上プロジェクト

2021年、カンボット州において、パートナー団体CADDPと協働で運営をはじめた「チルドレン・スタディ・クラブ」は、障害児が通う放課後教室として、30人の子どもたちとともににはまりました。2023年度は、3集合村で36人の子どもたちを受け入れました。

●ダムナック・アンビル集合村：13人

(内、女子4人)

●トラビヤング・タメアス集合村：10人

(内、女子10人)

●アングマックブリヤング集合村：13人

(内、女子4人)

同年度は、各クラブに1人のコミュニティ教員を配置し、月曜日から金曜日までクラブを開館、子どもたちの学びの機会を広げることができました。採用したコミュニティ教員に対しては、郡教育局の職員による教授法のトレーニング研修を提供しました。

障害がある子どもたちへの差別は、コミュニティ全体の意識の課題です。この課題解決のため、5月にコミュニティ評議員、教員(計29人)を対象とした、障害児と人権

に関する研修会を実施しました。

また、障害がある子どもたちが将来的に取り組める職業訓練として、有機野菜作り研修会を実施し、苗や種を配布しました。この研修会からは、野菜を作り、販売することで、自給自足につながり、家計の支出を削減できた等の効果が報告されています。

プレアビハ州児童保護施設 運営支援

現地NGO・SCADPが運営する、プレアビハ州児童保護施設では、22人の子どもたちが共に暮らし、学校に通っています。同施設で暮らす子どもたちに、文房具、教科書、制服などの学用品を寄贈しました。

プレアビハ州の奨学金支援

中学校、高等学校がないプレアビハ州の中でも、さらに辺境地帯にあるイエン村の子どもたち3人に奨学金を支給し、中学校、高等学校への進学をサポートしました。奨学生

は、成績優秀者の中から、経済的な理由で小学校卒業後の進学をあきらめざるを得ない子どもたちの中から選出しました。

国境地帯のノンフォーマル(学校外) 教育支援

プレアビハ州の5つの村で、ノンフォーマル教育を提供する「寺子屋教室」の運営支援を行っています。寺子屋教室に通う全児童380人に、ノート、鉛筆、消しゴム、定規等の文房具セット一式を寄贈しました。

国立幼稚園教員養成学校の 奨学金支援

カンボジアで唯一幼稚園教諭免許が得られる、国立幼稚園教員養成学校に通う学生に奨学金を提供しています。昨年度は、総選挙が行われ、省庁再編等があり、同校では新入生受け入れができず、奨学金が発生しませんでした。2024年の開校に合わせて奨学金の支給を行う予定です。

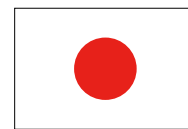
VIETNAM



ベトナム



JAPAN



日本



アジア子どもの家 奨学金事業

1999年より、ハイフォン市に500万円を委託し、その受取利子を運用、奨学金を提供しています。本奨学金基金は、ハイフォン市児童保護基金が管理をし、経済的に貧しいながらも、優秀な成績を収めている子どもたちに奨学金を支給するものです。2023年度は、45人に、1人当たり約5,000円の奨学金と、文房具一式を贈呈しました。



イベントの主催

2023年6月17日に行われた総会に引き続き、エファ・シンポジウム2023「アクセシブルな物語の未来：メタバース、VR、アクセシブルブックが拓く世界」を開催しました。メタバースやVR領域の研究者で、自治体やNPOの活動支援等もされている宮田和樹さんを講師に招き、社会課題の解決とメタバースの利用等についてお話をいただきました。

また12月21日にはラオスと日本をつないだ「ラオス出張報告オンラインライブ」を開催するなど、現地と日本とをつなぐ機会を提供しました。

外部主催のイベントへの参加

外部主催のイベントにも積極的に参加しました。4月29日に第94回中央メーデーにブースを出展し、カンボジアやラオスのフェアトレード商品の販売と活動報告を行いました。また、10月24、25日にパシフィコ横浜で行われた、第25回図書館総合展では、参加者が選ぶアカデミックブースの投票で5位の高評価を得ました。11月5日から12日に、藤沢市民活動

推進機構とソーシャルアトラボが開催した「Fujisawaメタパラダイスof Arts」では、メタバース上の空間で、カンボジアの障害がある子どもたちが描いた絵を展示し、メタバースでの報告会も実施しました。

着なくなった服が寄付になる Brand Pledgeを開始

着なくなった服、バッグ、ハンカチやタオルなどを、お申し込み後に届く段ボールに詰め、返送するだけで、査定金額がエファへの寄付となるBrand Pledgeを11月より開始しました。3月末までに300件近くのお申し込みをいただきました。エファはこれからも参加しやすい寄付やボランティアのメニューづくりを進めます。

夏休みは世界にいいこと ボランティアチャレンジ ～日常生活から世界を知ろう～

夏休みに子どもたちが取り組めるボラン

ティアプログラムとして、「夏休みは世界にいいことボランティアチャレンジ」を企画しました。自分の日常生活の中でできることから、世界の子どもの教育支援まで、さまざまなチャレンジによって、子どもたちの夏休みの「自分ものがたり」が彩られる機会となるプログラムです。ボランティアチャレンジでは、10のチャレンジをクリアした全員に「認定書」をお渡ししました。

地震についての情報のまとめ ～日本語が母語ではない方へ～

2024年1月1日の能登半島地震では、被災者の中に日本語が母語ではない方々がいることを想定し、エファでは、やさしい日本語や、多言語で表示されている関連サイトなど、情報を得られるアプリをウェブ上で紹介しました。また、避難所でも同様の情報を得やすくするため、ポスターなども制作し、現地で活動する支援団体に届けました。

2023年度会計報告

活動計算書 [税込] (単位:円) 自2023年4月1日 至2024年3月31日

I. 経常収益	
受取会費	3,081,000
受取寄付金	32,298,823
受取助成金等	900,000
事業収益	391,500
その他収益	10,422
経常収益計	36,681,745

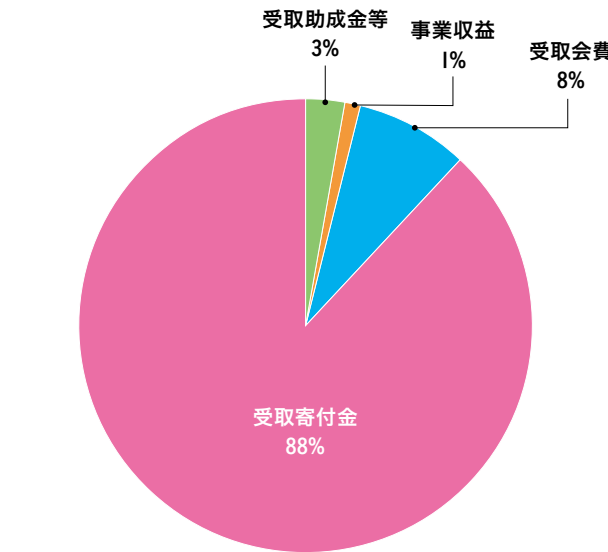
II. 経常費用	
事業費	
ベトナム事業	296,207
カンボジア事業	9,860,498
ラオス事業	10,945,261
緊急支援	0
国内事業	7,366,962
収益事業	792,479
事業費計	29,261,407
管理費	
人件費	4,724,172
その他経費	4,430,455
管理費計	9,154,627
経常費用計	38,416,034
当期経常増減額	△ 1,734,289

III. 経常外収益計	
過年度損益修正益	332,897
経常費用計	332,897

IV. 経常外費用	
経常収益計	0
税引前当期正味財産増減額	△ 1,401,392
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	△ 1,471,392
前期繰越正味財産額	37,469,990
次期繰越正味財産額	35,998,598

2023年度収入・支出の内訳

収入 36,681,745円



貸借対照表 [税込] (単位:円) 2024年3月31日現在

I. 資産の部	
(1) 流動資産	
現金・預金	36,007,725
売上債権	233,974
棚卸資産	114,025
その他流動資産	889,480
流動資産計	37,245,204
(2) 固定資産	
敷金	1,440,000
固定資産計	1,440,000
資産合計	38,685,204

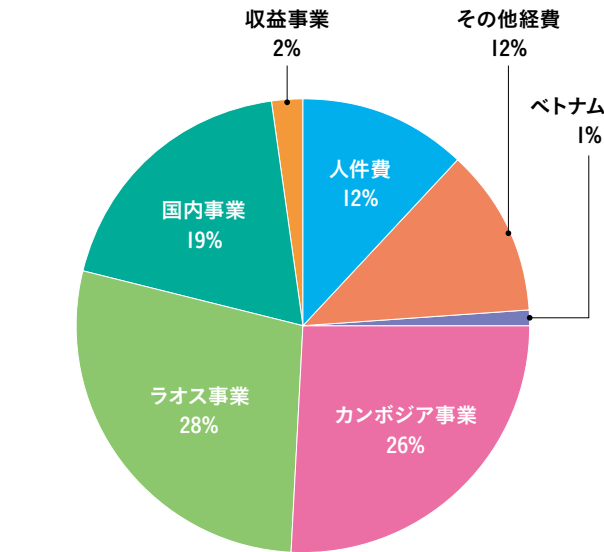
II. 負債の部	
(1) 流動負債	
未払金	739,280
預り金	325,426
未払法人税等	70,000
流動負債計	1,134,706
(2) 固定負債	
退職金引当金	1,551,900
固定負債計	1,551,900
負債合計	2,686,606

III. 正味財産の部	
一般正味財産	
前期繰越正味財産額	37,469,990
当期正味財産増減額	△ 1,471,392
正味財産合計	35,998,598
負債及び正味財産合計	38,685,204

【貸借対照表の注記】

正味財産中、使途等が制約された寄付金(指定正味財産)は、840,928円です。計算書類の注記2でその内訳を報告します。

支出 38,416,034円



計算書類の注記

注記1: 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日策定 2017年12月12日改定NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は法定評価方法によっています。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金:職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末法人都合要支給額により計上しています。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
●ラオス				
自治労東海地区連絡協議会 ビエンチャン都立図書館・多目的ホール運営管理費支援 (支援期間:2018年11月～)	312,376	280,000	321,362	271,014
自治労新潟県本部 タートン村小学校図書館支援 (支援期間:2018年11月～2021年10月)	12,996	-	12,996	0
自治労青森県本部 ドンクワイ村小学校図書館支援 (支援期間:2019年1月～)	39,034	30,000	39,034	30,000
自治労三重県本部 サンバンナ村小学校図書館支援 (支援期間:2019年9月～)	17,255	50,000	17,255	50,000
自治労東海地区連絡協議会 ナーハンケー村小学校図書室支援 (支援期間:2018年11月～)	136,066	100,000	136,066	100,000
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間:2020年1月～2024年12月)	428,988	-	144,893	284,095
自治労広島県本部 サントン郡小学校図書室支援 (支援期間:2020年1月～2024年12月) 自治労本部(調整費)	238,093	-	132,274	105,819
富永誠治 思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト (支援期間:2020年1月～2024年12月)	425,075	-	425,075	-
合 計	1,609,883	460,000	1,228,955	840,928

監査報告書

監 査 報 告 書
特定非営利活動法人 エフジャパン 理事長 伊藤 達雄 様 2024年 5月 14日
特定非営利活動法人 エフジャパン 監 事 中山 雅之 監 事 八倉 由美
私たち監事は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。
1. 監査の方法およびその内容 監事は、理事長および事務局の職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等に出席し、理事長および事務局の職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な疑念等を摘発し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。 さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表および損益計算書)およびその附属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。
2. 監査意見 (1)事業報告等の監査結果 ①事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実認められませんでした。
(2)計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録の監査結果 計算書類およびその附属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。
以上

注記2: 使途等が制約された寄付金等の内訳

複数年度にわたり使途等が制約された寄付金等の内訳は以下のとおりです。当法人の正味財産は、35,998,598円ですが、840,928円は下記のように使途が制約されています。したがって使途が制約されていない正味財産は、35,157,670円です。

注記3: その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

事業費と管理費の按分方法

- 共通する経費のうち、給与手当、賞与手当、法定福利費、旅費交通費(人件費分)については、従事割合に基づき按分しています。
- 共通する経費のうち、地代家賃、水道光熱費、リース料については、従事割合および従事期間に基づき按分しています。

ありがとうの気持ちを込めて 皆さまとともに歩んだ 20年

2004年 ● 10月12日 エファジャパン設立。

2005年 ● 【カンボジア】国立幼稚園教員養成学校付属幼稚園児への奨学金事業を実施
 特定非営利活動法人認証

2006年 ● 【ベトナム】「子どもの家」の近くにある「ホンバン愛の家」（児童保護施設）の生活状況改善支援実施
 【ラオス】ビエンチャン都立図書館・多目的ホール完成



2006年 【ラオス】ビエンチャン都立図書館・多目的ホール完成

2007年 ● 【ラオス】カムワン県とシェンクワン県の子ども文化センター支援
 【カンボジア】スラムの子どもたちのための寺子屋教室支援開始



2007年 【カンボジア】スラムの子どもたちのための寺子屋教室支援開始

2008年 ● 【ベトナム】ハイフォン市児童福祉関係職員研修実施
 【ラオス】滋賀県でラオス国立大学図書館長招聘研修
 【ラオス】44か所にコミュニティ図書館・図書室設置

2009年 ● 【ベトナム】ハイフォン市の要請を受け障害児に関する調査実施
 【ラオス】セコン県子ども文化センター設立支援

2010年 ● 【ラオス】ノンセンチャン村小学校図書館、タートン村小学校図書館建設
 【カンボジア】カンボジアとタイとの国境で起きた武力衝突で避難を余儀なくされた子どもの保護活動を支援



2010年 【ラオス】ノンセンチャン村小学校図書館

2011年 ● 【ラオス】ラオス図書館協会の運営能力強化支援を開始
 【カンボジア】紛争により公教育が遅れている地域での寺子屋教室を支援



2011年 【カンボジア】寺子屋教室に通う子どもたちへの教材配布



2011年 【カンボジア】紛争により公教育が遅れている地域での寺子屋教室を支援

2012年 ● 【日本】古本リサイクル募金開始
 【ベトナム】ベトナム子どもの家が、児童ソーシャルワークセンター（児童福祉事務所）に改編

2013年 ● 【ラオス】カムワン県の少数民族学校に文房具などの教材を寄贈
 【ラオス】ドングワイ村小学校図書館建設
 【カンボジア】プノンベン市とプレアビヒア州の児童保護施設の日用品等の支援開始

2014年 ● 【ベトナム】ハイフォン市障害児支援開始
 【カンボジア】カンダール州就学前教育事業を支援

2015年 ● 【ラオス】ナーハンケー村小学校建設
 【ラオス】サンパンナ村小学校図書館建設

2016年 ● 【国内】認定NPO法人認定
 【ベトナム】ハイフォン市タイフン村に障害児クラブの設置
 【ラオス】ビエンチャン都立図書館10周年式典

2017年 ● 【ラオス】ファパン県の14の学校に図書室を設置
 【カンボジア】小学校3年生まで受け入れていた寺子屋教室で5年生までの受け入れを開始

2018年 ● 【ラオス】ビエンチャン都立図書館で利用者を増やすための広報パンフレット制作支援
 【カンボジア】カンダール州で学童保育園の運営支援

2019年 ● 【ラオス】県立図書館に図書管理システム（PMBシステム）導入支援を開始
 【カンボジア】プレアビヒア州イエン村の寺子屋教室修了生に奨学金の支給を開始

2020年 ● 【国内】新ビジョン・ミッション・バリューを策定
 【ラオス】ビエンチャン都サントン郡にある4校の小学校に図書室を整備

2021年 ● 【ラオス】新型コロナウイルス感染症の影響で2021年4月から2022年2月まで学校閉鎖
 【ラオス】障害児を対象とした新規事業調査実施
 【カンボジア】新規事業「農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト」がスタート

2022年 ● 【ラオス】新規事業「思考とスキル向上のための読書推進プロジェクト」がスタート
 【カンボジア】協働で事業を実施しているSCADPが2024年度での解散を決定

2023年 ● エファは、その時のニーズにより事業を実施してまいりました。
 終了した事業もありますが、その経験を活かしながら新しい事業を行っています。



エファジャパンの組織

2024年3月31日 時点

【会員】

正会員 97人
シニア会員 42人
賛助会員個人 51人
賛助会員団体 33団体

【エファパートナー】

エファパートナー個人 79
エファパートナー団体 58

【役員】

理事長	伊藤 道雄	特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター2I (ACC2I) 代表理事
副理事長	石上 千博	全日本自治団体労働組合(自治労) 中央執行委員長
理事	青木 真理子	自治労共済推進本部 本部長(自治労共済生協理事長)
理事	太田 阿利佐	元毎日小学生新聞 編集長
理事	木下 究	公益社団法人東京自治研究センター 理事
理事	栗本 正則	特定非営利活動法人FAIR ROAD 副理事
理事	関 尚士	特定非営利活動法人エファジャパン 事務局長
理事	玉井 一匡	玉井一匡建築研究所 代表
理事	渡戸 一郎	明星大学 名誉教授
監事	八巻 由美	全日本自治団体労働組合(自治労) 総合企画総務局長兼国際局長
監事	中山 雅之	国士舘大学大学院グローバルアジア研究科 教授
顧問	イーデス・ハンソン	公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 特別顧問

【事務局】

事務局長	関 尚士
プログラムマネジャー	鎌倉 幸子
プロジェクトコーディネーター	チッタウォン フォンサワン

【エファジャパンが実現したい社会(ビジョン)】

すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、自分ものがたりを描ける社会に。

【エファジャパンの使命(ミッション)】

- どんな困難な状況にあっても、未来を拓きたいと願うアジアの子どもたちに、教育を通じて生きる力を培います。
- アジアの開発途上国の障害がある子どもたちが、安心して生きられる環境を家族やコミュニティと共に創ります。
- さまざまな価値観と文化に触れ、多様性を豊かさとして捉え、アジアの子どもたちが、共に生きることのできる社会づくりに、地域の人々と取り組みます。

【エファジャパンの行動指針(バリュー)】

- 一人ひとりの違いを認め合い、尊びます。
- つつみこみ、みまもり、みとめあう家族、コミュニティの力を支えます。
- 選択肢という可能性を生みだし、広げます。
- 最適な“情報”、“居場所”を届けるために、より良い手段を考え抜きます。
- 自らが変わろうとする意志と行動を応援します。
- 共に歩み、学び、成長します。

子どもたちの未来のものがたりのために

平素よりエファジャパンの活動にご理解とお力添えをいただき、心より御礼申し上げます。

長く続いた外国との戦争と内戦によって、家族から引き離され、感染症や心理的トラウマ、貧困の中で苦しんでいた子どもたち。この子らに生き抜いていく力を授けたい――

2004年、エファジャパンはベトナム、カンボジア、ラオスで地域の人々とともに教育と福祉サービスの取り組みを開始しました。それから20年。多くの方々のご理解とご支援のもとで、800校に上る図書室が整備され、42万人の子どもたちが学びの扉を開くことができました。

本は、命と心の栄養です。生きていくための知識を得ることができる本、未知の世界に向けて扉を開き、想像力や共感力を育み、自分の生き方、道標さえも授けてくれる本。私たちは一冊の本がもたらす希望を信じ、活動を続けています。

2024年、エファジャパンは、「本の飢餓」を無くす取り組みに挑みます。

本がつくる、子どもたちの未来のものがたり。

私たちの活動にご参加いただければ幸いです。



特定非営利活動法人エファジャパン

理事長 伊藤 道雄

本がつくる、キミの未来のものがたり エファパートナー募集

エファパートナーとは月々1,000円からの支援で、
エファが取り組む「本の飢餓」の撲滅に向けた活動を応援いただく
マンスリーサポーター制度です。
寄付金は、その時々にも最も必要な事業・活動へ使わせていただきます。

パートナーの皆さまには、エファが目指すビジョン、
「すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し
『自分ものがたり』を描ける社会」の実現に向け、
子どもたちの成長や社会の変化を共に見守っていただき、
また、皆さまご自身の「自分ものがたり」も描いていただくことを
目指していききたいと思います。

私たちと一緒に、この世界を「本の力」で変えていきませんか。

お申込み・詳細は特設サイトをご覧ください

【パートナー特設サイト】 <https://www.efa-japan.org/partner/>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エファは、SDGsの達成に向け行動します。



特定非営利活動法人エファジャパン 2023年度年次報告書
2024年9月15日発行

発行人	伊藤道雄
編集協力	(株)MAG MAG、蒔田清二
発行所	特定非営利活動法人エファジャパン 〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階 TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338 Email:info@efa-japan.org https://www.efa-japan.org/

※認定NPO法人であるエファジャパンへのご寄付は、税制優遇の対象です。